

平成 27 年度第 4 回北海道ブロック協議会  
第 4 回北海道代協理事会  
議 事 録

平成 28 年 1 月 15 日(金) 12:00~15:30  
於:ホテルライフオー ト札幌

出席者 (以下、敬称略)

日本代協理事	木内 彰		理事	川口 直一	札幌	理事	大橋 敏	函館
日本代協理事	山口 史朗	札幌	理事	濱谷 一弘	札幌	理事	濱中 公也	函館
会長	羽山 和広	帯広	理事	嶋田 拓馬	札幌	理事	上畑 雅則	釧路
副会長	松浦 則雄	函館	理事	山崎 善仁	札幌	理事	通岩 稔	釧路
副会長	佐々木 雅之	札幌	理事	廣瀬 禎	室蘭	監事	本村 宏文	千歳
副会長	寺田 賢	旭川	理事	山本 仁	旭川		佐藤 聖	苫小牧
副会長	吉田 和彦	釧路	理事	坂本 信一	旭川		白戸 俊成	札幌
副会長	深井 弘美	帯広	理事	佐々木 直人	旭川		赤山 登	札幌
専務理事	伊藤 隆人	札幌	理事	本田 秀一	苫小牧		根布 匡章	小樽
常務理事	酒井 正衛	札幌	理事	小笠原 信夫	千歳		澤田 憲孝	帯広
理事	田中 幹	札幌	理事	田代 誠治郎	函館	事務局	藤田 和代	

司会 専務理事 伊藤 隆人

### 1. 開会の辞(寺田)

### 2. 北海道代協会長挨拶(羽山)

皆さま、あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。昨日いきなりの大きな地震で、JRが止まったり、お客様の所でも被害が出たところもあったかと思ひます。地震保険の普及を改めて出来ると思ひます。新年に当たり、昨年は各支部におかれましては会員増強、保険大学課程等にご尽力を賜りましてありがとうございます。北海道代協の頑張る姿は、皆さまの力で日本代協にアピール出来ていると思ひます。また、コンベンションに於いて北海道代協物産関係で 3 月 26 日北海道新幹線開通のアピールも出来たかと思ひております。本日はこの後、公開講座、ブース展、新年交礼会と大変長丁場になりますので、出来れば早めに終わりたいと思ひております。ご協力の程、宜しくお願い致します。

### 3. 日本代協理事挨拶(木内)

皆さま、あけましておめでとうございます。昨年中は大変ご協力を戴きましてありがとうございました。感謝申し上げます。私も今年 4 年目になります。皆様のご協力があるって理事の大職を遂行している最中です。今年は我々にとって大きな節目になります。是非、そのルールを守りながら自分たちの個性を伸ばして消費者に感動を与えて認めてもらえるような募集人にならなければならないと思ひています。代理店もその仕組みに改革していかなければならない大切な年だと思ひますので、公私共々、研鑽して戴いて進んで行くよう宜しくお願い致します。

#### 4. 募集規範朗読(濱谷)

#### 5. 議長選出

議長には吉田氏(釧路)が指名され、承認を得た。

#### 6. 出席理事数の確認

議長より、理事総数 27 名に対して、出席 25 名、過半数を超える出席により成立宣言されました。

#### 7. 議事録署名人の選出

議事録署名人は会則に従い、本村監事、羽山会長とされた。

#### 8. 議 事

##### [I] 承認事項

##### (1)平成 27 年 10 月 23 日開催 北海道ブロック協議会・理事会議事録の承認

上記議事録は 11 月 27 日にメールで送付しております。また、北海道代協HPに掲載されております。ご意見、訂正はありませんでしたので承認して戴いたものと確認させて戴きます。拍手をもって承認。

##### [II]報告事項

##### (1)日本代協理事会報告(木内)

・12 月 10 日第 6 回理事会が行われました。全理事出席。

会長挨拶

・コンベンションが大盛況、大成功で終わった報告。併せて、司会者青山さんの好リードが良かった。

・損保協会主催でトータルプランナーの認定授与式が東京イイノホールで行われた報告。金融庁の井上課長との情報交換によって大変親密になって、損害保険事業に対する認識新たにした。

・正会員の実態調査の情報と熱の伝わり方が今一の為、役員は率先して行って戴きたい。

報告事項

・日本代協コンベンション実施報告

・正会員増強運動 11 月報告。6 ヶ月連続で増加、累計で+62 店増加。

・国民年金基金キャンペーン。「目指せ3冠王」の情宣をしていく。

・損害保険大学課程。現在、損害保険大学課程コンサルティングコース受講募集の最中です。

・正会員実態調査の件。12/9 時点で、全体で 23.5%と低迷している。50%超を目指してほしいことが話し合われた。

・ぼうさい探検隊。81 団体 301 マップは前年比で倍増した。キッズリスクアドバイザー賞を提供している。

・活力研。2/17 日本代協会議室で開催予定。テーマは代理店手数料体系の今後の展望も盛り込んでいきたいと報告であった。

・日本代協ニュース。新春対談「女性が輝く代理店を目指して」では北海道からMS保険サービスの中神真由美さんが参加して活発な討議がされている。

・公務員倫理規定。金融庁から配信され利害関係者となる場合の対応ポイントの通知が来ました。

・金融庁井上課長の日本代協訪問。東京に所在する大型企業代理店と比較推奨を行う乗合代理店も直接訪問された。また、代協役員がボランティアで活動していることを知り、改めて驚きと感心を示

された。

- ・消費者契約法および個人情報保護法の改正に関する動向。改正が行われた場合は我々の仕事に影響してくるので、今後の動向を注視する。
- ・賛助会員のJCM社は全国的にも買取りが増えているとの報告。リースの提供もあります。

#### 決議事項

- ・平成 28 年度日本代協事業計画の検討。4 代協、1 ブロック、1 委員会から 15 項目の提言を戴き、対応案○△×で表示し、検討内容が記載されている。止める事業の提案はなかった。
- ・事業計画の進捗状況。地区別進捗状況。高梨副会長が九州を 3 回に分けて保険会社訪問をした。会員増強と日頃のお礼では、代協は専業代理店のみで集団だと思われていたが、志が高ければ仲間になれることが理解されてきている。
- ・新潟代協の好取組の報告 p11 参照。
- ・日本代協アドバイザーの委嘱。栗山氏の他に、中崎章夫氏と山本秀樹氏がアドバイザーになる。
- ・PIASの実施内容。6 月 16 日~24 日まで 9 日間。東京海上日動パートナーズ社では、社員教育の一環としてPIASを活用することも検討している。
- ・正会員実態調査の延長。回答率が低い為、アンケートの体をなしていないので、1/4 まで延長する。更に目標回答率に届かない場合は 2/4 まで再延長する。追加費用 30 万円。我々の実態を把握しなくては日本代協の進む道が分からなくなるので延長することが決定した。回答率の高い代協は、人海戦術、個別電話作戦で上げているので、是非、お願いしたい。

#### 事業計画の推進。

- ・組織委員会は会員拡大と国民年金基金。
- ・企画環境委員会は「代理店賠償」パワーポイント資料を活用した 10 分版セミナーと、「現状と課題」パワーポイント資料の活用。
- ・教育委員会はコンサルティングコース受講募集
- ・CSR委員会は多岐にわたるCSR活動をシートにまとめ管理している。
- ・広報委員会は 1/30 16:30~16:55 (BSフジ) でトータルプランナーPR番組放送。各代協ホームページ更新状況等のチェックをした。
- ・ビジョン委員会。水災被害地区代理店ヒアリングをした。ハザードマップ上、水災埋没危険地帯であるにもかかわらず、約 80%が保険料を安くするために水災不担保の契約となっており、保険金が受け取れない方が出ている状況とのこと。保険料が安ければいい訳ではない。 以上

## (2) 日本代協ブロック長懇談会報告(羽山)

(p33)、岡部会長の年頭所感より、

- 1.改革の精神が活かされなければ、個々の代理店はおろか、損保募集の主体である代理店というチャネル自体が、消費者からみはなされることにもなりかねません。もはや中途半端なお客さま対応は通用しないのです。我々はこの点を強く認識し、自らを、そして自らの組織を変えていく必要があります。
- 2.自社の経営品質を高め、より高い次元のお客さま満足を追求することが必要です。そのために必要な募集人の資質の面では、業界最高峰の募集人資格である「損害保険トータルプランナー」を取得せずしてプロを名乗ることはできないと思います。

お客様視点の「リスクベースのアプローチ能力」を磨き、意向把握の先にある助言能力を発揮していくことが、プロ代理店の競争力の一つになるのではないかと考えています。

3.コンベンションの講演で、サッカー元日本代表監督岡田武史様の「チーム哲学」①～⑥  
厳しいと云われている代理店。ことしも頑張りましょう。との挨拶が載っています。

- ・会員増強報告。北海道代協は 1/4 現在 597 会員となっております。以降資料参照。
- ・平成 28 年度 第 6 回コンベンションの日程は 11/4・5 日ホテルグランパシフィック LE DAIBA。
- ・正会員実態調査 北海道代協 1/5 現在、回答率は 34.6%。回答率 50%にあと 75 件です。ご協力を宜しくお願い致します。2/4 まで。今日、再度のメールが流れます。
- ・ぼうさい探検隊応募状況は、北海道代協は 8 団体の申込み。

### (3) 日本代協委員会報告

#### 【組織委員会】(川口)

- ・会員増強の経過説明。連クォーター稼働 6 月末・9 月末・12 月末・3 月末目標は 6 月末 1 件、9 月末目標 30%、12 月末目標 60%、3 月末 100%でやっております。日本代協の現状は 12 月末、11,809 店。3 月末 12,500 店まで約 700 店です。2 月のキャンペーンで取り戻して目標達成としたい。
- ・国民年金基金は目標 120 件。1/7 現在 18 件と伸び悩んでいる。

#### 【CSR委員会】(坂本)

- ・小学生のぼうさい探検隊マップコンクールは 81 団体、312 マップ、2,191 名参加で大幅アップです。札幌 1 件、旭川 2 件、函館 1 件、帯広 3 件、小樽 1 件で 8 件参加することができた。ご協力ありがとうございました。2/4 表彰式です。
- ・グリーン基金応募は締め切った。北海道は今年の継続で、旭川 1 団体と釧路 1 団体です。2 月に正式決定となる。
- ・エコバックの提供に関する意向確認。現在、北海道では約 1,000 個の要望です。見本回覧。

#### 【広報委員会】(嶋田)

- ・毎年放送しているテレビ番組。1/30(土)BSフジにて 16:30～16:55 「安心の鍵 お持ちですか？」放送。ナレーターは高川裕也(カンブリア宮殿のナレーター)さん。これも DVD が作成される予定になっている。

#### 【教育委員会】(佐藤)

- ・1 月 9 日委員会が開催された。
- 1.損害保険大学課程の運営。損害保険トータルプランナー認定授与式を行う場合には、損害保険協会に報告書を提出しなければならない。今年度の受講申込状況は、委員会開催までに 50%達成できたのは兵庫県代協と高知県代協だけでした。北海道は教育委員を中心に達成したいと思います。各保険会社別コンサルティングコース受講申込状況で最も多いのは、損保ジャパン日本興亜。
- 2.教育委員会の検討課題。昨年 10/7 日本代協会議室に於いて、大学等における講義・授業等の講師育成行方、8 名参加、東京海上日動HRA金子氏を講師に迎えて、研修が行われた。教育事業の検討。教育委員会の事業として柱となるものを今年度当初よりずっと議論していますが、なかなか決まらず継続審議となっている。「5 年後 10 年後に生き残るため」を合言葉に、どのようなことをやって行ったら良いかを話し合っている。3 月に委員長が理事会で発表することになっている。

#### 【企画環境委員会】(濱中)

- ・「代理店の賠償責任」会員拡大の為に、各社の業務連絡会で 30 分は難しいので、10 分バージョンパワーポイント資料を作成した。今後は是非、活用して戴きたい。
- ・「現状と課題」のパワーポイント資料は 27 年度版に改定してある。
- ・不適切な募集等の募集環境問題のデータベースを作っている。

#### 【ビジョン委員会】(佐々木)

- ・今月 26 日委員会開催で、各保険会社からのサポートはどのようなことがあるか出して、それを基に日本代協としてどのようなサポートができるか議論することになっています。
- ・次回のコンベンションの基調講演の講師選定も議論することになっています。

#### (4) 各支部活動報告および予定計画報告(活動報告は資料掲載の為、追加事項みの)

- ・札幌支部－10/23、地震保険普及キャンペーンを狸小路にて 4 名参加で実施。11/18、消費者協会との懇談会。12/25 締め第 12 回タオルボランティア運動は、合計約 1,400 枚を 5 施設に約 250 枚ずつ寄贈した。2/10 講師青山夕香さんによるセミナー開催をします。近隣支部の方もご参加下さい。
- ・室蘭支部－2/16 一泊で新年会をします。2/24、相続についてのセミナーを予定している。
- ・旭川支部－1/19 北見で損保協会との打合せがあります。1/20、60 周年記念式典を行います。昨年より準備をし、最高の準備が出来ています。20 日の天気が心配です。気をつけてお越し下さい。
- ・小樽支部－11/12 キャンペーンでは配布物が少なかった。1/18 幹事会・新年会をする。会員増強は 2 店を予定、成果にしたいと思えます。トータルプランナー受講申込も 2 名できるようにしたい。
- ・苫小牧支部－10/30 の支部セミナーは「人とお別れ」、最近の葬儀の形態などについて現場の方の話を伺いました。11 月タオルボランティア運動で 1 福祉施設に寄贈した。継続して行いたいと思う。1/13 幹事会開催、新年交礼会の打合せと会員増強を鑑み非会員の方も積極的に声掛け、ご招待し、代協の雰囲気味わってもらいたいと考えています。
- ・千歳支部－12/11、マイナンバーのセミナーをあいおいニッセイ同和本社の方を講師に行った。12 月から 1 月末締めでタオルボランティア運動 200 本集め、恵庭の社会福祉協議会に寄贈する。2 月新年会、3 月幹事会を行う。
- ・函館支部－タオルボランティア運動は 12/25 締め 1,109 本を 1/26 に 5 施設に 200 本ずつ寄贈する。2/4 会員懇談会と損保会との新年交礼会をする。3 月新入会員オリエンテーションを行う。
- ・釧路支部－1/22 新年交礼会。2/5 消費者協会との懇談会。タオルボランティア運動は 1 月末で締めて、3 施設に寄贈することになっている。
- ・帯広支部－タオルボランティア運動は昨年を上回る 418 本集まり、2 施設に 200 本ずつ寄贈予定。1/22 セミナーは成年後見人契約の注意点などを司法書士の先生にお話して戴く。2/5 消費者協会との懇談会。2 月下旬、支部広告を掲載する。役員改選なので、その準備を 1 月下旬から行う。
- ・函館支部のタオルボランティア運動の取組み紹介－恒例になっているが、期間中に 4～5 回、会員宛に、今日現在、寄付した方の名前と本数を表にして、合計何本です。と FAX とメールでお知らせしている。保険会社にも流している。最低を 10 本にしている。名前がないのは恥になっている。

#### (5) 北海道代協各委員会報告

##### 【組織委員会】(川口)

・昨年3月末589店でスタートした。今年度目標636店。47店増を目指している。連クォーター稼働で目標は立てているが、なかなか思うように行かなく、1/14日現在で598店。後、目標まで38店です。これを2月のキャンペーンでどのようにやって行くか、1/29に組織委員会を開催します。旭川支部、釧路支部は目標を大幅に超過しています。残念ながら札幌支部が退会15店で、それを取り戻すのが大変で現在188店です。3月末よりまだ4店少ない状況。

会員増強の補助金として30万円の予算組して戴いております。会員増1店につき、6,000円支部に出すことになった。他支部に紹介してもらった場合は半々とする。

会員600店の壁がなかなか超えられない。11/13日本代協コンベンションまでに600店を超えたいと思っておりましたが出来なく、12月末でもいかなく、今日の新年交礼会までに600店を目指した。羽山会長の新年交礼会の挨拶に600店を入れて貰いたいと願ったが2店足りなくて598店。今月中に600店をクリアして、勢いを付けて2月の会員増強キャンペーンに入りたいと思っております。皆さま、ご協力をお願いしたいと思います。

・国民年金基金は4件の目標ですが、0で成果なし。p50国民年金基金訪問先です。身近な所にアプローチ先がありましたら、声掛けをお願い致します。

・「相続・遺言・贈与」のリーフレットは、相続手続支援センター札幌が、日本相続知財センター札幌に社名変更になりました。業務内容と電話番号等の変更なし。周知をお願いします。

#### 【教育委員会】(佐藤)

・11月20日第2回教育委員会を千歳で開催した。

・昨日14日現在、トータルプランナー受講申込者数は目標半分の20名です。後、1ヶ月強で20名増やしていきます。各支部長様にはご協力宜しくお願い致します。見込みだけではダメで、入金になってカウントです。早めの入金をしてほしいです。

・コンサルティングコースセミナーは9月と3月に行っています。3/11(金)にセンチュリーロイヤルホテルで行います。損保協会より、スタッフは5名以上といわれており、札幌支部の方をお願いしています。

・11/20、同じく千歳で災害体験セミナーを、千歳防災学習交流センター「そなえーる」で行いました。以前行った札幌の施設の方が充実しているという意見もありました。全道では他に帯広、釧路にあるので、今後どこで開催するか等、検討を重ねて来年度に向けていきたいと思えます。

・トータルプランナーのいる代理店登録は、北海道は支部の幹事さんまではお願いしたところ140店登録して戴いた。来年度中には全登録をお願い致します。

#### 【CSR広報委員会】(坂本)

・2月12日会議予定です。

・タオルボランティア運動は12/25締めとなっておりますが、各支部、年度内に終了するよう引き続きお願いします。報告は1/8現在、p79のとおり。報告の無い支部は事務局に報告をお願いします。

・地震保険普及キャンペーンの実施、ありがとうございました。また、春に無保険車追放キャンペーンが始まりますので、そちらもご協力宜しくお願い致します。

・「小学生のぼうさい探検隊」マップコンクールは終了したばかりですが、またすぐに次年度の取組みが始まります。小学校や学童保育の取組は3月までに次年度の計画が組まれるので、PTA、教育委員会の繋がり、学童保育の知り合いを通じて次年度の計画、夏休みに取組んで戴けるようにお話しして

ほしいです。日本代協でも力を入れて取組んでおります。

### 【企画環境委員会】(濱中)

- ・11月20日第2回企画環境委員会を開催した。
- ・支部における募集環境の情報共有。リフォーム業者の不適切な修理が大変あるようで、注意して戴きたい。情報がありましたら、委員会の方に報告をお願いします。
- ・ディーラーの抱き合わせ販売
- ・退職団体の割引適用。退職団体割引利用している大手が、途中退社者に対して転職前に加入させ退職後も退職団体割引を利用する。情報がありましたら、委員会の方に報告下さい。
- ・短縮バージョンのパワーポイント資料「代理店賠償責任について」「代協活動の現状と課題」版は各支部に於いても企画環境委員を伝道師として活躍させて戴き、会員拡大にも役立てて戴きたいと思っております。

### 【事業委員会】(白戸)

- ・10月23日第2回事業委員会を開催した。
- ・10/23、DRP感謝の夕べがありましたので、会議前に30分間、DRPさんと意見交換会を持った。短時間なので、事前に質問をして回答戴く形式で行った。思っていることを率直に伝えることができ大変良かった。
- ・DRP車輛入庫キャンペーンを3ヶ月間行い、入庫目標90台に対し、68台で、達成率75.5%。入庫代理店には台数分のクオカードを各支部から進呈して戴きました。
- ・JCM社個人向けカーリースのコミコミFLAT5は前回理事会で承認になっていなかったということで、今回の理事会でご承認をお願い致します。ご案内はp89～90。
- ・DRP佐々木ブロック長より、各支部長には是非、入庫促進を頑張って戴きたい旨の要望がありました。DRP入庫促進策として、鹿児島県代協、福島県代協では独自のチラシを作成しているので北海道代協も参考にして作成して行きたいと思っております。
- ・次回の事業委員会は2/26。

### 【政治連盟】(赤山)

・前任の梅基さん時代から大変重たい会費がずっと積み残しであります。聞く役員も話す私も大変気が重いです。会費納入期限が12/31で、昨年暮れに本部山本さんから届いた代協ごとの入金状況を各支部長様宛にお願いした結果がp83です。札幌支部と函館支部はオーバーしての入金です。改めてお礼申し上げます。ただ、過去3年間で一度も入金のない支部もあります。各支部の会員はこの会費についての理解がされているのか？お金が入らないのはそれが原因なのではと思う。過去に京都方式など議論したことはあるが、出来れば各支部会員の集まる場で、政治連盟の会費の使い道と活動内容の理解のために説明をしたい。特に過去3年、入金のない支部には幹事会や総会で説明をしたいと思っております。我々が襟を正して真摯に取り組んでも、努力しても、立ち行かない時に政治家の力を借りて、力になってもらっている。是非とも政治連盟を理解する機会を戴きたいと思っております。場合によってはお邪魔してお話をさせて戴きたいです。支部に戻りましたら、お話戴きたいです。以上、議長は質問を諮る。質問なし。

### [Ⅲ] 審議事項

#### (1) 会員増強目標に達成に向けて

・寺田副会長より、2/3、高梨日本代協副会長、山口日本代協理事、羽山会長、佐々木副会長で、札幌の保険会社に会員増強等のお願いに回る予定になっています。また、高梨副会長から旭川支部60周年で前日に旭川入り、旭川の保険会社訪問の連絡が届いております。北海道代協一丸となって2月・3月会員増強をやりたいと思っています。進捗は前述報告の通りですが、当初の70店新会員目標、23店位が退会だろうとの予想での目標数です。現状入会31店でまだ半分も達成していない状況です。1/29 今期最後の組織委員会開催です。その際、旭川支部、釧路支部は目標達成していますが、達成支部には再度、上積みさせて戴きたい。3月末に向けての支部目標を決め直しなくてはならないと思っています。各支部長さんの協力なくして会員増強目標達成はないので、是非、ご理解戴いて宜しくお願い致します。以上の説明がされた。

川口ー旭川支部と釧路支部は約半年で、1年の目標を上回ったことで両支部長にテクニック、秘策を聞かせて戴きたいです。

旭川支部ー広範囲エリアをこなす旭川支部なので、マメに役員が地区ごとに分けて回ることをしている。1月の幹事会で見込みを聞いたところ4店ほど挙がっている。足しげく通うだけです。

釧路支部ー保険会社との友好的関係になっていること。企画環境委員会の「代理店賠償の勉強会」を5社で行い、それが実を結んだ。3月までは、もう刈り取り終わったので増は見込めない。

札幌支部ー足を引っ張っており申し訳ないです。180~190の会員がいると全員が代協活動に熱い情熱があるのではなく、4月・5月の退会は前期にすでに退会の意志を示していた会員の処理を年度が変わって繰り延べして退会手続したものです。残り3ヶ月で増やす努力をしたいと思います。根拠の無い数字の発表は控えます。

室蘭支部ー3月までには1店増やし20店にしたいと思います。

小樽支部ー見込み2店あるので、1店は確実にしたいと思います。

苫小牧支部ー候補3店の内、2店は入れて31会員を目指したいと思います。

千歳支部ー1店何とか増やしたい。

函館支部ー岩間組織委員より、1・2店の見込みがある報告をもらっている。是非85店にしたい。

帯広支部ー具体的な見込みは出ていないが、支部長と押切委員より、役員幹事が候補1店を連れて来る指令が出ているので、それに従い増やして行きたいと思います。

以上、各支部の決意を発表し、議長は最後まででの努力の確約を取り、拍手をもって承認されました。

#### (2) 北海道ブロック協議会会計監事の選出について

・羽山会長より、ブロック協議会の中で、会計監事の選任をしなければならない。会計の関係なので酒井常務理事にお願いしたいと思います。ご審議願いたい。

議長は諮り、拍手を持って承認されました。

#### (3) JCM承認の件

白戸事業委員長より、買取りで提携しているJCM社より、個人向け車のリースの提案が10月にあったのですが、まだ承認を得ていないので、改めてご承認して戴きたい。

議長は諮り、拍手をもって承認されました。

大橋理事より一般の会員向けに提携業者の内容が一覧で分かる案内を作成して戴きたいとの要望がありました。



#### (4) 全道一斉広報活動の件

嶋田理事より。予てよりCSR広報委員会で、全道一斉に広報活動が出来ないものかと話しがありました。札幌支部で広告を出している「ぶらんとマガジン社」の冊子に広告を載せてはとの提案。ぶらんとマガジン社から、HoA4カラー1ページ1回で30万円を特別価格で15万円の見積りです。北海道代協としての広告です。以上の提案説明がされました。

議長は審議を諮り。

山崎:Hoは北海道では良く読まれている雑誌である。PR効果も期待できると思うので賛成。

山本:女性に人気のある雑誌で賛成。

山口:次年度予算に1回分の予算を組む話と認識した。なにを載せるか。その効果をどう測定するのか。掲載回数等、委員会で更に精査した方が良くと思う。

嶋田:地域特集もあるので、特集に合わせて全道各支部の内容に変える案もある。まずは、来年度1回実施して効果、反響をみてみたいと思います。

通岩:資金的な面はどうか。スポット的に行うのでは効果がないと思う。余裕はあるのか。

酒井:経費の支出の説明。毎年、余剰金はでている。その範囲であれば可能です。

通岩:資金があれば出せばいいし、なければやらない。

坂本:次年度予算を出してほしい。それからでないと動けない。

寺田:出すことは悪くない。ただ、広告の効果は人其々で、広告を出したからと言って保険に入りたいとの電話が来るわけでもない。予算を組むのであれば内容のイメージを出して戴かないと判断が難しい。連載にして支部負担の可能性もあるのであるならば、理事が納得した上で進めた方が良く。

嶋田:2/12委員会に向けて、基本になる部分を作って揉みたいと思い作っている最中です。

山口:4月の理事会は総会前理事会で予算案の承認を行う。その予算案に入れるか入れないかの話となる。

濱中:予算組しないと計画できないのではないかと。

大橋:委員会ごとに予算を組んで行うのが筋だと思う。

山口:次年度の計画と予算案の作り方。委員会ごとに、開催回数、必要交通費、活動経費等で予算を組む。概算要求を出す。理事会で揉む仕方。

会長:皆さんの意見は理解する。概算で委員会にお願いすることは可能だか、次年度検討としたい。

松浦:委員会ごとに、掛かった経費は分かる。その実績を基に次年度、各委員会が必要な経費を出す。新規は財政状況を見て、出来ないものはカットする。この広告の件は毎年、委員会で話されている事案である。15万円はリーズナブルな価格だと思うのでやってみたいと思う。この理事会の承認を得たい。

以上この件について、議長は、2月の委員会で更に精査して、4月の理事会に1回分の予算提案することは拍手をもって承認されました。

#### (5) 北海道代協運営規則の改定について

深井副会長より。運営規則は平成20年施行により、現在の運営に合わない所がある。運営規則は理事会承認で変えられる。よって「第3章 入会金及び会費 第6条 2項、入会金及び会費は支部を経由する。」は、支部経由の会費もあるが、殆どが口座振替をしており、支部を経由しないで会費が納入されているので、この部分を削除としたい。また、その他にも、実態に沿った内容に見直したいと思う。削除について承認して戴きたい。今後、更なる規則改定の検討についてもご留意いただきたい。以上の提案説明がされました。

議長は「第3章 入会金及び会費 第6条 2項、入会金及び会費は支部を経由する。」の削除を諮り、拍手をもって承認されました。

#### (6)その他

- ・(4)の委員会の次年度予算の部分で期日を設けなかったため、2月末までに提出とする。
- ・政治連盟の赤山氏の支部訪問旅費は、北海道代協負担とする。異議なく承認されました。

#### [IV]その他

##### \* お願い

羽山会長より。次年度は役員改選です。日本代協委員改選、北海道代協委員改選です。支部より、決定ではなくても、人選を2月末までに事務局に提出をお願いしたい。

また、総会の準備で、各支部長、各委員長は今年度の事業報告と、次年度の事業計画を2月末までに提出をお願いしたい。ご協力の程、宜しくお願い致します。

山崎理事より。日本代協の情報を北海道代協理事にも流してほしい要望がありました。

ここで議長は謝意を述べて退任する。

#### 9. 監事講評

本村監事より。会員増強について、今の時代に組織委員は大変だと思います。数でコミットした支部が殆どで必ず達成する決意でコミットして達成して戴けるのは有り難いと思います。数は力になります。CSR広報委員会の広告について議論されました。その中で感じたのは、各支部の会費はまちまち、旅費規程も有るところと無いところ、政連会費も納める支部納めてない支部、これで北海道代協として統一した共同事業をするのは難しいと考えます。中でも、是非、政連会費は年度内に解決できなくても次年度には解決できるような方向で議論、検討して戴きたいと思います。支部の会費が統一しないと、道で統一事業は難しいと考えます。旅費規程も、支部毎に異なっております。道の行事に支部から旅費が出るのは如何かな？と思います。統一した旅費規程、慶弔規定を作ると良いと思います。議事全体は積極的な意見が出で終了したことは喜ばしいことです。以上、監事講評とさせていただきます。

#### 10. 閉会の辞

以上をもって、深井副会長は、平成27年度第4回北海道ブロック協議会・第4回北海道代協理事会の終了を宣し、午後3時30分閉会した。

上記、議事録を作成し、会長、並びに議事録署名人が記名押印する。

平成28年1月15日

会長 羽山 和広

監事 本村 宏文